

令和4年度事業報告書

はじめに

公益財団法人おおいた共創基金は、平成25年の設立以来、行政、企業等が対応しきれない分野の地域課題の解決に取り組むNPO団体の活動を支援しています。

新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せない中、社会経済活動が縮小し、これまで以上に様々な課題の発生やその多様化が予想されたため、基金としても様々な関係機関と一層の連携を図りながらNPO団体への支援を継続してまいりました。

1 資金的活動基盤強化事業

(1) OA機器助成事業

平成27年度から大分県内で地域貢献活動に取り組むNPO(NPO法人及び任意団体)に対し活動に必要なOA機器を助成しており、今年度もニーズが多いOA機器の助成事業を実施した。

37団体から応募があり、申請内容(OA機器の必要度など)及びNPO活動の実績等を審査し、21団体に助成することを決定して、令和5年3月6日に開催した「めじろんフォーラム2023」において、OA機器を贈呈した。

・ノートパソコン：13団体 ・プリンター：3団体 ・プロジェクター：5団体
※総額：1,584,220円

(2) NPO基盤強化支援事業

平成28年度から実施している。

県内NPO団体が自ら寄付金集めのノウハウを身につけることにより、その基盤強化に取り組み、地域課題解決のための継続的な活動ができるよう支援を行うもの。

令和4年度は3団体を採択した。

・認定特定非営利活動法人 おおいた成年後見権利擁護支援センター	100,000円
・特定非営利活動法人 まど	100,000円
・特定非営利活動法人 シネマステーション大分	100,000円

(3) ふるさと創生NPO連携促進事業

特定非営利活動法人、法人格のないボランティア団体、市民活動団体及び地域コミ

ユニティー団体（以下、「NPO団体」という。）が、他のNPO団体や企業等の多様な主体と協働して行う地域活性化や地域の課題解決などふるさと創生を推進する取組に対して、支援することにより、NPO団体同士や多様な主体との連携促進、NPO団体の育成及び県民全体で支える地域社会の創生を目指し、本年度は3グループ（協働体）の事業に対して、それぞれ補助金100万円を交付し、伴走支援を行った。

また、当該事業に応募したNPO団体に対して事業計画作成等の支援を行った中間支援団体に当該経費として105,250円を助成した。

令和4年度ふるさと創生NPO連携促進事業の採択団体・事業概要一覧

採択団体	事業概要	事業費 (千円)
〈主担当〉 NPO法人 子育て応援レストラン 一般社団法人 LBM 社会医療法人 関愛会	3団体の交流拠点である農園「坂ノ市オレンジファーム」での農作業を通じて、子どもから高齢者まで、障がいの有無に関わらず、各々が存在意義を実感し、生き生きと活躍できる地域づくりを行います。 農園を拡大整備し、子どもや子育て世代支援の「たまりば農園」、高齢者支援の「もみの木農園」、障がい者支援の「オレンジ農園」でシェアして農作業を行うことにより、参加者が居場所や存在意義を実感することができる地域共生型の農福連携農園となるように3団体が協働して取組みます。	1,033
〈主担当〉 就労支援ボランティアグループ たんぽぽの会 臼杵市社会福祉協議会 南部地区振興協議会 NPO法人 三色すみれ 三色すみれ 企業組合 野菜畑 三色すみれ 百年木造駅舎3駅の会 〔中間支援〕 臼杵のんき屋	無人駅となっているJR上臼杵駅の一角にカフェを設けることにより、地域の交流拠点としての機能強化を図るとともに、就業スタッフとして働く障がい者の手助け、支援を行います。 臼杵市が所有し、南部地区振興協議会が管理を受託しているJR上臼杵駅の一角を利用して障がい者の就業支援につながるカフェを開設します。	1,347
〈主担当〉 認定NPO法人 地域の宝育成支援センター 一般社団法人 フリースクール等連合会	引きこもりや障がいなど様々な理由により、義務教育下で不登校問題を抱えている不登校者・保護者への支援を行います。 NPO・フリースクール・企業が連携し、不登校者や保護者に寄り添いながら、不登校問題の解決・支援を共に行う窓口づくりと、ネットワークの構築を行います。	1,098

(4) 冠助成事業

企業訪問時に「〇周年記念行事」等、企業名や商品名などを冠した助成事業について打診し、協力可能ならば予算化をお願いしたが、実現しなかった。

2 運営的活動基盤強化事業

(1) 企業とNPOの協働推進セミナー2022

企業、行政等の社会貢献活動に対する意識を高めるとともにNPO、企業、行政等が地域社会の課題を共有し、それぞれの強みや特性を生かした協働の推進を図ることを目的にセミナーを開催した。

本セミナーでは、「多様な主体との協働がつなぐ地域の創生～ESGでOITAの未来を創る！～」をテーマに、コロナ後を見据え、ESGの視点から多様な主体が

協働して課題解決に取り組むことを目指した。

立教大学特任教授の河口眞理子氏による講演や企業のNPO現場体験活動の報告をとおり、ESGや協働に対する理解が一層深まり、公共や民間といった概念や組織の垣根を超えた形での連携やESGに取り組む意識が高まったと思われる。

ESGは、企業の活動とNPOの活動が目指す目的を共通の物差しで表現できるとともに、同じ目標を持った主体どうしがつながり易くなる有効な手段であり、ESGというツールを活用して、NPOと企業をはじめとする様々な主体がつながる機会となった。

- ・日 時 令和4年12月21日（水） 13：30～
- ・会 場 J：COMホルトホール大分3階大会議室
- ・参加者 大分県内のNPO、企業、行政、学生、一般県民など
67名（うちZOOM参加20）：NPO18、企業19、行政16、一般14

① 講演「なぜ協働なのか？ステークホルダー資本主義が意味すること」

講師 立教大学特任教授 河口 眞理子 氏

② 「令和4年度企業のNPO現場体験活動」報告

- ・参加企業 鬼塚電気工事株式会社
体験先 特定非営利活動法人 おおいた環境保全フォーラム
- ・参加企業 九州労働金庫大分県本部
体験先 特定非営利活動法人 地域ひとネット
- ・参加企業 大分航空ターミナル株式会社
体験先 特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT

(2) CSR活動とNPO活動の連携推進委員会（R4. 8. 1設置）

企業等とNPOなどの多様な主体が、互いを理解し、それぞれの強みや特性を活かして、地域課題を共に考え、解決に向けて共に取り組むパートナーとして協働が推進され、少しでも多くの地域課題の解決が図られることを目的として開催した。

委員構成は、NPOから3名、企業・団体から3名、中間支援団体から3名、及び行政から2名とした。委員会では、NPO、企業等、中間支援団体及び行政の各委員所属団体の取組事例における課題や成果をもとに、CSR活動とNPO活動の連携・協働を如何に図るかについて、重要項目を整理するとともに、今後のCSR関連セミナーのあり方などについて意見交換等を行った。

複雑化、高度化する地域課題の解決のためには、NPO、企業、行政などの多様な主体が連携して活動することが重要であり、委員会は情報交換と今後の連携推進に有益な意見交換や提案を行う場として活用することができた。

①第1回連携推進委員会 令和4年11月9日（水）

②第2回連携推進委員会 令和5年 2月7日（火）

(3) めじろんフォーラム2023

「多様な主体との協働」をテーマに、県内各地域で活動するNPO・ボランティア団体と、社会貢献活動（CSR活動）に取り組む企業や団体等とのパートナーシップ構築を促進し、より多くの地域課題の解決に向けた取組が進むことを目的として開催した。

講演及び活動報告を通じて、企業・団体には、地域課題に応えるためにCSRプログラムをどのように作成し、地域社会の中でどのようにCSR活動を進めるか等について理解を深めていただき、また、NPOには、今後の活動のあり方や企業・団体との連携や協働、支援の獲得に向けて取り組む際のヒントなどを学んでいただく機会が提供できた。

- ・日 時 令和5年3月6日（月） 13：30～
- ・場 所 アイネス 2階 大会議室
- ・参加者 県内NPO 50人、企業・団体 8人、行政など 9人 計67人
- ・プログラム
 - ①企業・団体への感謝状贈呈 11法人
 - ②助成金及び助成物品の贈呈 基盤強化事業 3団体、OA機器助成 21団体
 - ③講演 演題 「NPO・企業・地域・行政の協働を進めるポイントとは」
講師 協力世界代表 松原 明 氏
 - ④ふるさと創生NPO連携促進事業活動報告 3グループ（協働体）

(4) NPOセンター事業

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、Zoom配信も同時に行った。配信方法等の改善点はあるものの、好評であった。オンライン配信は欠かせないものとなってきている。より精度をあげて対応していきたい。

①スキルアップ講座

- ・伝わるコンテンツの作り方 7/28（木）講師：新見奉之氏
- ・SNS&ホームページを使った情報発信の基礎 8/25（木）講師：新名康行氏
- ・SNS&ホームページを使った情報発信の実践 9/28（水）講師：新名康行氏
- ・効果的なチラシの作り方 1/26（木）講師：森海里氏
- ・事業報告書を作成しよう 2/15（金）講師：安東俊信氏

②チャレンジセミナー 10/28（金）

「29歳移住者がNPOを立ち上げて日曜討論に出演するまで」

講師：松永鎌矢氏（NPO法人リエラ 代表理事）

③出張個別相談会 中止

④会計フォローアップ講座 2/15(水) 運営アドバイザー：松尾直美氏

⑤相談業務

・相談件数等

開館日数	243日/年
来館者総数	215人/年
電話対応件数	123件/年
年間相談件数	319件/年
相談内訳 (来訪：41 電話：104 メール：174)	

・相談内容内訳

助成金	19件	6.0%
広報	0件	0.0%
会計・税務	3件	0.9%
団体設立	7件	2.2%
団体運営	3件	0.9%
提出書類	4件	1.3%
おんぼ登録等	5件	1.6%
情報提供依頼	51件	16.0%
企業CSR	0件	0.0%
運営アドバイザー関係	84件	26.3%
講座・セミナー関係	92件	28.8%
リーススペース利用	0件	0.0%
印刷機利用	5件	1.6%
機材・書籍貸出	4件	1.3%
その他	42件	13.2%
合計	319件	100%

⑥運営アドバイザー派遣

年度当初に、財務会計や人事労務、税務、経営戦略などの分野、17名の派遣アドバイザーを委嘱し、NPO団体のニーズに応じて、年間66件の派遣を行った。

3 地域課題の分析と研究

(1) 大分大学との連携

大分大学と連携して、「令和4年度大分県NPO団体等の現状把握に関する調査」を実施した。本年度は大分県内のNPO団体の現状把握を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響、事業継承についての調査を行った。

今後のNPO団体への支援を検討するための資料とする。

(2) 大分市（ライフパル）との連携

大分市のNPO団体数は県全体の約半数を占めていることから、NPO団体への支援を大分市と連携して進めるために定期協議等を行った。

- ①第1回定期協議「令和4年度の事業について」 5/31（火）
- ②第2回定期協議「令和4年度事業経過情報について」 9/28（火）
- ③第6回NPO博への出展 11/20（日）
- ④第3回定期協議「令和4年度事業実施状況、令和5年度事業計画」 2/9（木）

(3) SDGsの普及・啓発

12月21日（水）「企業とNPOの協働推進セミナー2022」を開催し、「多様な主体との協働がつなぐ地域創生～ESGでOITAの未来を創る！～」をテーマに普及・啓発を図った。

4 基金の強化事業

(1) 広報活動

- ① フェイスブック及びホームページへの随時投稿及び更新を行うとともに、めじろんNEWS（NO.24～26）を発行した。
- ② めじろんグッズ(ジャンバー、ティッシュ、のぼり旗等)の配布、貸与を行った。

(2) 募金活動

① 賛助会員等からの寄付金

ア 前年度の企業・団体賛助会員（69会員）への継続依頼

訪問及び書面で継続依頼 … 62会員が継続加入、7会員が継続不可であった。

また、前年度継続不可であった企業1社が会員に復帰した。

イ 新規の企業・団体賛助会員の獲得

コロナ禍により新規賛助会員の獲得に向けた企業・団体訪問は、儘ならなかったが、募金箱による寄付募集を見た企業1社から新規会員の申し込みがあった。

※ 企業・団体賛助会員：64会員、寄付金額：1,255,000円

ウ 個人賛助会員の獲得

賛助会員加入の勧誘のため、県職員OB等の訪問、お願い文書の送付を行った。

※ 個人賛助会員：7人、寄付金額：98,000円

② 募金箱による募金

ア 店舗設置の募金箱

設置か所：73か所

※ 募金箱の募金総額：800,819円

イ イベント等設置の募金箱

※ 設置回数：1回、募金総額：8,242円

③ 寄付金付き自動販売機による寄付金

ア 大分航空ターミナル(株)から寄付金(93,674円)を、R4.4.21にホテルニューツルタにおいて受領した。

イ その他の自動販売機4台分(13,074円)は、自販機設置業者から随時に口座振込された。なお、佐伯市上浦町のしおさいの里に設置していた自動販売機が昨年3月末で撤去され、3台となっている。当該自販機の3月分は4月に入金された。

※ 寄付金総額：106,748円

5 経常的業務

(1) 監事監査 5/9 (月)

(2) 第45回理事会 「令和3年度事業報告及び決算報告、評議員選定委員の選任、
評議員候補者(補欠)の推薦」 5/18 (水)

(3) 第11回評議員選定委員会 「評議員(補欠)の選任」 5/24 (火)

(4) 第13回定時評議員会 「令和3年度事業報告及び決算報告」 6/6 (月)

(5) 第46回理事会 「代表理事の選定、業務執行理事及び副理事長の選定」
6/23 (木)

(6) 第47回理事会 「令和4年度主要事業進行管理」 11/16 (水)

(7) 第48回理事会 「令和5年度事業計画(案)、令和5年度収支予算(案)、
令和4年度主要事業進行管理、寄付実績」 3/13 (月)